

# 地域包括ケアに関する取組み

早良区

## 〇概況

令和5年3月末現在

【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】 早良区は南北に長く北部（商業・文教・交通の拠点）、中部（閑静な住宅地域）、南部（自然豊かな農業・住宅地域）が異なる特性をもつ。面積は7区の中で最も広く、人口は東区、南区、博多区に次いで4番目に多くなっている。 【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】 早良区の高齢化率は年々上昇しており、7区のうち城南区に次いで2番目に高くなっている。高齢化率は、北部の西新校区では、約15%と低く、南部の曲淵校区では50%を超えているなど、地域ごとに大きな差があり、各地域の課題も異なる。高齢単身世帯も年々増加しており、令和2年度国勢調査では12.0%であった。 【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】 ・病院が13ヶ所（精神科病院1、地域包括ケア病棟を持つ病院5） ・事業所ネットワークが4ヶ所。認知症サポーター養成講座や公民館講座等で地域との連携を深めている。 ・区南部では、H24年度から「さわら南よかとこネット」が活動しており、買い物支援等地域と共働しながら社会資源を補う取組みを展開している。 ・平成29年度より3年間「介護の備え講座」「早良区いきいきサミット」を地域支援課と共催で開催。令和2年度から「地域包括ケア関連講座」を開催し、公民館を拠点とした地域包括ケアの取組みが継続して行われている。	人口（人）	218,713
	高齢者数（人）	54,152
	高齢化率（%）	24.8
	小学校区数	25
	いきいきセンター 圏域数	9

## 〇地域包括ケアに関する現状と課題



- 令和元年度末からの新型コロナ感染症の影響で、高齢者の身体・認知機能の低下が懸念され、医療・介護連携やネットワークの活動は縮小傾向である。
- 地域ケア会議から出た課題
  - ・認知機能の低下に気づくための知識や気づいた際に早期相談、受診につなげる工夫、機会をとらえた早期発見につながる仕組みづくりができないか検討が必要。
  - ・金銭管理に課題がある人への支援は、既存の制度では対応が難しいケースもあるため、本人の自己決定権を尊重しながら本人の状況に合わせた支援を行っていくための制度や支援体制の構築が必要。
  - ・在宅生活継続支援に充実に向けて在宅医療・介護に関わる専門職種が活躍できるように支援することが必要。多職種間、同職種間での情報共有や市民向けの利用促進の支援が望まれる。
  - ・ACPの啓発、医療・介護の連携や同職種間での連携、単身高齢者に対する早期からの連携支援などが必要。

## 1. 令和5年度取組みの中で、特徴あるもの

### 取組内容

#### 早良区における地域包括ケアシステム推進について

##### 1 地域での取組を応援するメニュー：「認知症支援の推進」を強化

公民館での 地域包括ケア関連講座の実施	・地域包括ケアに関する5分野の講座を公民館や地域の専門家と共働して実施していきます。 【地域包括ケア関連講座 テーマ】 「介護」若い世代向け親子で考える介護の備え講座、知った介護保険 「住まい」高齢者の施設・住まいについて 「医療」在宅医療でできること、かかりつけ医ありますか？、お薬の話 「生活支援」消費者被害、孤立死について考える、マイエンディングノート、終活 「保健(予防)」オーラルフレイル予防講座、知ってる？フレイル、健康寿命と食生活 その他、地域包括ケアに関する講座について開催支援します。	
<b>強化・拡充</b> 認知症支援の推進	・認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座、認知症ステップアップ講座、を通して、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」を増やします。 ・認知症の実情を知る映画「ほけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」の上映を実施します。 ・認知症の早期発見、早期相談につながるためのリーフレットを配布し、啓発を行います。 ・世界アルツハイマーデーに合わせて、区内の図書館などの施設で啓発を推進します。 ・認知症の人へのコミュニケーション・ケア技法のひとつであるユマニチュード(R)の普及啓発、(DVDの貸出)等を行います。	公民館を拠点にした 地域包括ケア関連講座
健康寿命の延伸を目指す取組み オーラルフレイル予防事業	・健診を受けて病気を予防・早期発見することで、健康寿命の延伸を目指します。 ・認知症予防や生活習慣病・フレイル予防等の健康講座、生き生き講座などを実施します。 ・よかとろ実践ステーションや運動の自主グループなど、身近な場所での健康づくりや仲間づくりをお手伝いします。 ・歯科医師会や大学と共働して、お口から健康づくりに取り組む実践的な講座を行い、 <b>オーラルフレイルを予防</b> します。	
「高齢者地域支援事業」の実施	・校区や町内会単位で、支え合い助け合いの仕組みづくり等について話し合い（ <b>高齢者地域支援会議</b> ）、地域の実情に応じて、できることから実施していく取組みです。 ・地域の活動団体が参加し、相互に連携することで、課題解決に向けた取組みが進めやすくなります。	歯科医師による オーラルフレイル予防の講座

##### 2 オーラルフレイル予防事業：歯科医師会、大学、歯科衛生士会等と連携して事業を推進する

##### 3 事業所ネットワークの連携推進：地域と医療・介護の専門職をつないでいく

## 2. 令和4年度の取組状況

### (1) 地域ケア会議の状況

#### ① 個別支援における成功事例、課題など（個別支援会議の傾向など）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、感染対策を実施しながら必要時開催することができた。
- ・認知症、近隣トラブル、キーパーソン不在など重複した問題を抱えているケースが多く、支援者が対応に苦慮している状況があった
- ・保護課、住居管理者、社会福祉協議会、民生委員、警察など必要に応じて様々な職種が参加している

個別支援会議開催状況 ・会議回数：延79回(うち介護予防型個別支援会議25事例)

#### ② 住民同士の助け合い・支えあい活動

##### ○高齢者地域支援事業

###### 高取校区の取組み

平成28年度に高齢者地域支援会議を開催し、校区の良いところや課題、10年後の目標などについて意見を出し合いました。話し合いを重ねて校区福祉のまちづくりプラン「明るく、楽しく、安心して住めるまち!!たかとり」を作成し、このプランに基づいて、高齢者支援に取り組んできました。令和4年度は、プラン作成から5年経過の節目となることから、これまでを振り返り、改めて将来に向けた取り組みについて町内ごとに話し合いました。また、避難行動要支援者名簿を活用し、見守りマップの更新を実施しました。



##### 高取校区社会福祉協議会だより

令和4年12月16日号

###### ○高取校区高齢者地域支援会議報告○

高取校区では、2025年、国連の世代が後期高齢者となるのを目標に、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、地域のネットワーク作りに取り組みしています。今年6月の「ふれあいネットワーク推進会議」でも校区の現状を把握し、将来への取り組み方法を話し合いました。下記にその結果をご報告致します。

明るく、楽しく、安心して暮らせるまち「たかとり」

###### プラン① 向こう三軒両隣！あいさつから広がる交流の機会をつくりたい。

- (西新5丁目) あいさつをすることで、見守り対象の行動パターンを知ることができる。
- (高取1丁目) マンションの管理会社とのコンタクトを取る。
- (高取2丁目) 朝の見守り。小学生の地、中学生にも声掛けをする。
- (昭代2・3丁目) 隣じこもりの方に声をかけてサロン、高齢者教室へお誘いする。
- (昭代1・樓) 清掃活動でコミュニケーション機会を図る。
- (旭原) 知っているだけでなく、知らない人にも挨拶する、声をかける。

###### プラン② 高齢者同士の助け合い心がけます。

- (西新5丁目) 訪ねて来ないゴミを捨てたり、電球等を交換したり協力する。
- (高取1丁目) 台風のある、被害状況の見回りをする。
- (高取2丁目) 近くの高齢者との話し合い、商店街での声掛けをする。
- (昭代2・3丁目) 引っ越してきた方には、できるだけ挨拶や声掛けを心がける。
- (昭代1・樓) 町内で手作りをしてコミュニケーションをはかる。
- (旭原) ふれあいネットワーク高知のためのチラシを作って配布や回収する。

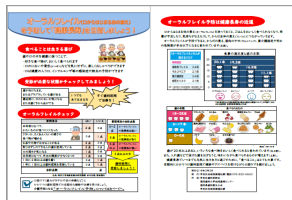
###### プラン③ ふれあいの進歩を促します。

- (西新5丁目) 千寿会の活動に誘う。
- (高取1丁目) 公園の整備、子どもを見守りながら高齢者も憩える公園の整備をする。
- (高取2丁目) 散歩するとき、自分の担当地域を導くようにする。
- (昭代2・3丁目) 絆カフェに来るのが困難な方を送迎する。来れない方は弁当を配達する。
- (昭代1・樓) 三世交代交流ができるレクリエーションを検討する。
- (旭原) 公民館以外で高齢者が集まら立ち寄れる集会所を設置する。

高齢者地域支援会議開催状況

・会議開催校区（地区）数：9校区（地区）、延べ回数：13回  
・検討内容：高齢者の課題等について意見交換し、地域で高齢者を支えるための取組みを検討し、できることから実施する。

#### ③ 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み



オーラルフレイル予防のためのリーフレット

■オーラルフレイル予防事業：早良区歯科医師会、福岡歯科大学、福岡県歯科衛生士会と協力してリーフレットを作成

■多職種連携研修会（オンライン）

- ①新型コロナ禍で地域包括ケアはどう変わったか？感染対策事例と問題点
- ②地域で始めるACP
- ③福岡市成年後見推進センターの概要、権利擁護支援の地域連携ネットワークについて

圏域連携会議開催状況

・会議回数：1回（早良8開催）  
・テーマ：民生委員・児童委員と圏域ケアマネ、いきいきセンターの交流会

#### ④ 区レベルの取組み（特徴ある取組み）

- ・早良区版地域包括ケアを推進する事業で、公民館を主体とした「地域包括ケア関連講座」（地域の専門職と連携して地域包括ケアの5分野に関する講座）の開催、認知症啓発映画「99歳 母と暮らせば」を公民館で上映
- ・歯科医師会、大学等と連携した「オーラルフレイル予防事業」：R2～4年度の3年間で全校区開催、リーフレット作成など

区地域包括ケア推進会議開催状況

・区地域包括ケア推進会議 1回  
・部会 ①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会1回 ③生活支援・介護予防部会1回

### (2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	具体的内容
多職種連携研修会（医師会委託事業）	3回（ハイブリッド開催）①訪問看護ステーションにおけるリハビリテーションの実際②在宅での食支援③地域としての災害の備え
在宅医療に関する市民講座（〃）	1回（ハイブリッド開催） テーマ「在宅での食支援～生きる実感、確かな食事から～」
①ケアマネ連絡会（ケアマネネットさわら） ②訪問看護ステーション連絡会 ③医療ソーシャルワーカー交流会	①開催なし。 ②区単位の開催なし。 ③企画会2回、オンライン開催2回
早良区地域包括ケア推進チーム	地域包括ケアを推進するために、関係課が協力し連携して取り組むために区の関係課9課で設置。各課における地域包括ケアに関する取組みの共有を行っている。